



台風直撃？

10月8日の午前、台風18号が少年自然の家を直撃しました。この台風は950ヘクトパスカル、猛烈な風と雨で各地に大きな被害をもたらしながらやってきました。8日未明から風雨が強くなり、小枝が折れ散乱しました。また、内部が腐っていた樹が倒れたりしました。雨量も多いのではとニュースを見ながら警戒していたのですが、午前9時を過ぎる頃には風も雨もやみ、あれ、台風はもう通り過ぎたのかなと思ったりしましたが、実は台風の目の中に入っていたようです。その時、気圧計を見ると855ヘクトパスカルをさしていました。ここは標高1225メートルの所にあるので、気圧が低いのです。11時頃には865ヘクトパスカルになりました。しかし、台風の見の中に入っていたには吹き返しもなく、そのまま台風は通り過ぎていきました。枝が折れ、数本の倒木がありました。台風が直撃したはずなのに、テレビ・ラジオ等が報道していたほどの被害はありませんでした。幸い建物も無事で、折から来所していた小学校の自然教室も無事終わりましたが、その後、散乱した小枝を集めたり、オリエンテーリングコースや、ハイキングコースに異常がないか確かめるのが大変でした。

所長のひとりごと 20

三井一則

秋が日ごとに深まりつつあります。いち早く鉢巻道路沿いの山桜の紅葉が始まり、編笠山の紅葉も山頂付近から麓へと降りてきて、施設内を彩っています。

先日の大型の台風18号は、県南部を通過しました。情報を聞いていると飯田から諏訪、そして群馬へと抜けた経路は、南アルプスを越え八ヶ岳の南麓を掠めて行ったような気がします。ちょうどその時期、早朝に強風のため倒木があり、管理棟前のハクウンボクの1本が根元から倒れてしまいました。根の張りが悪く強風に耐えられなかったようです。敷地内のあちこちでは、折れて飛ばされた枝が散乱し、道路も場所によっては落葉や枝で埋り^{わだち}轍のようです。

滞在中の学校は雨プロに変更になってしまいましたが、ちょうど台風の通過経路にいたことになります。「自然に親しもう」にはちょっと強烈過ぎました。台風一過の後が晴天となり、無事に日程を消化できてほっとしていますが、雨のため残念ながら変更となってしまった、楽しみにしていたプログラムに別の機会に再度挑戦されるよう、またのお越しをお待ちしています。

2009 11 1

9・10月の事業

●受け入れ事業

9・10月の受け入れ事業は学校団体51、青少年団体12、主催事業5、グループ・家族55でした。これは昨年とほぼ同様の受け入れ実績ですが、総合計では利用者数は若干伸びています。

●自然紀行

9月12、13日は「白駒池と北八ヶ岳ハイキング」。10月3、4日は「キノコ狩りと紅葉ハイキング」を実施しました。9月は24名の参加者がありました。初日の白駒池は生憎の雨天の探訪になりましたが、翌日の北八ヶ岳、横岳ハイキングは好天に恵まれ、初秋の八ヶ岳を満喫して頂きました。10月は18名の参加者がありました。初日、少年自然の家周辺でキノコ狩りを

しました。今年はキノコが不作で思うように採れませんでした。参加者はそれぞれキノコご飯を作れるくらいのキノコを採集し、お土産にしました。翌日は横谷峡の紅葉を見学しました。全面的な紅葉にいたっていませんでしたが、美しい景色を堪能して頂きました。

●自然探検隊

10月10、12日、2泊3日で川崎



水生昆虫を観察する

の子とも富士見の子ともが交流する自然探検隊を実施しました。

7月に富士見の子ともが川崎へ行ってっているので、今度は川崎の子ともが富士見へやってくる番です。3日間好天に恵まれ、天の川に見える星空や星間の星を楽しみました。また、水生昆虫を捕まえたり、ペットボトルロケットを作って飛ばしっこをしたりし、2つの町の子ともたちはすっかり仲良くなり、別れる時は名残惜しそうでした。

●ふじみ星空観察会

9月25日、10月23日に実施しました。9月は曇天で星を見ることは出来ませんでした。秋分の日のは夜夜の長さ、惑星の動きについて学習しました。参加者は51名。10月はつす雲の中、星座や流星群について解説した後、星座探訪、大型天体望遠鏡で月面、木星、二重星などの観望をしました。参加者は79名でした。

キノコの異変

八ヶ岳の秋はキノコ狩りで始まります。この時期、森近くにキノコ狩りの人々の車がずらつと並びます。一番人気は「ジゴボウ」と地元で呼ばれるハナイグチです。ところが今年はキノコが不作で特にジゴボウがとも少ないのです。夏の長雨と低温、秋の乾燥が痛手だったらしいのです。異変はそれだけではなく、コオニユリが受粉できずに種にならないものが多いのがとても気になります。気象の変化は昆虫の発生にも大きな影響を与えているのでしよう。自然界の連鎖はこの先どんな影響を与えてくるでしようか？気になる秋の異変でした。(K)



事業紹介 4

自主事業

前号で「八ヶ岳ふれあいイベント」について紹介しましたので、今回は「ふじみ星空観察会」を紹介いたします。少年自然の家には星空を観察する施設アストロハウスが平成4年に造られました。以来、毎年2万人くらいの少年自然の家の利用者がアストロハウスで星空を観察し、宇宙についての勉強をしています。星空観察施設としてはものすごい稼働率です。ここには口径20cmのクーテ式赤道儀が4台設置されています。倍率は200倍までですが、空が暗いので惑星はもちろん、星雲や星団などがびっくりするほどよく見えます。この施設設備を少年自然の家の宿泊利用者ばかりでなく、地元の人た

ちにも公開しようと思ったのが「ふじみ星空観察会」です。毎月

1回金曜日の19時〜20時30分に開催しています。毎月移り変わっていく星空の星座解説と、天体望遠鏡での天体観望が中心です。毎回、見えている星座を14〜15解説します。また、12〜16個の天体を解説し、天体望遠鏡でご覧いただ



いております。曇天雨天で星が見えない時も中止することはありません。その時は特別に宇宙の話や天文現象について話をするようにしています。ですから星が見えな

くても常連の方は参加され、中止になることはない事業です。

プラナリア発見

10月11日、川崎と富士見町の子どもたちが自然体験を通して交流を図る自然探検隊の面々が、アストロハウスで何等星まで昼間の星が見えるかに挑戦した後、せせらぎの森にある下の池へ行って、水生昆虫を採集して観察していた時のことです。採集したマツモムシ、ゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウ、コオイムシ、タイコウチ、ミズカマキリ、ルリボシヤンマのヤゴ、カワゲラやカゲロウの幼虫などをバットに入れ観察していた時、一人の子どもがバットの底で動いている小さな生き物を発見して、「あっ、プラナリアだ」と叫びました。「えっ、プラナリ

ア?」。この池は秋になると水を抜いて、からからに乾燥した状態で冬を越し、5月の連休の頃に水を入れるのです。きれいな川にすむプラナリアは昆虫ではありません。羽はないので飛んではくことは出来ません。冬になると水を抜いてしまふ池にいる訳がありません。半信半疑で実体顕微鏡でのぞいてみるとまさしくプラナリア。大騒ぎになり、皆で池に沈んでいる石ころを拾って裏返してみると、いるわいるわ、いっぱい着いてうごめいているのです。水生昆虫の指導に来て下さっていた小林貞先生に何うと、まれに水鳥などの足について運ばれてくることもあるとの事でしたが、大変珍しいとのこと。水を入れ替えた来年見かけることが出来るかどうか、注目してみようと思います。

催しもの案内

ハヶ岳ふれあいイベント

土曜日、日曜日、祝日にグループ、家族でご利用いただく方を対象に、次のようなプログラムを用意しております。参加費は無料ですが材料費は必要。参加申し込み等、詳しくはお問い合わせください。

★ネイチャークラフト

小鳥の巣箱作り、バードコール作り、白樺クラフト、焼き板クラフトの中から一つを選びます。八ヶ岳での思い出に、自分で作ったものをお土産にお持ち帰りいただけます。

★星空観察

19時～20時まで、アストロハウスで満天の星空を見ながら折々の星座観察と、大型天体望遠鏡での天体観察をします。惑星、星雲や

星団などを見ることが出来ます。



ハヶ岳自然紀行

少年自然の家に宿泊して、ハヶ岳の自然、地域、文化への理解を深めてもらえるように、毎月開催しています。4月から多摩市民館前で、発着の貸切バスで送迎しています。

●そば打ち体験と御柱祭を知ろう

今年の新そば粉でそば打ち体験をして賞味すると共に、来年実施される7年に1回の諏訪地方の御柱祭について学ぶツアーです。

・ 11月28～29日

●流れ星とクラフト体験

クリスマス用のキャンドルを作ったり、ふたご座の流星群を観察します。

・ 12月12日～13日

●スキー&スノーボード教室

富士見パラマリゾートでスキーまたはスノーボードを体験してみませんか。

・ ① 1月23日～24日

・ ② 2月6日～7日

・ ③ 2月20日～21日

費用、内容、申し込み方法等、詳細

については、ホームページをご覧ください。

なるか、お問い合わせください。



あとがき

インフルエンザがはやっていきますが、自然教室で来る学校によって、欠席無しもあれば10人欠席もあります。また、少年自然の家に来るから発症する児童がいたり、インフルエンザに振り回されています。でも、今のうちにはやってしまえば、冬の自然教室(スキー)の頃には収まっているのではと期待している毎日です。

川崎市八ヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原
12067-482

Tel 0266-66-2011

Fax0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 (社) 富士見町開発公社